

事務事業名		中心市街地ポケットパーク整備事業		会計		一般会計		事業種別		政策		開始		24		終了		24	
課等名		商業・市街地活性化課		係等名		中心市街地活性化係													
基本計画上の位置づけ		政策 8		山・里・街の魅力高め、交流と連携によるグローバルなまちづくり		施策 84		活気ある街づくりの推進											
目的	対象(誰・何を)	市街地に居住する人、通行する人、市民、来街者										指標名及び単位		24年度数値					
	意図(どういう状態にするか)	安全で快適に楽しく通行できる。										市民数		103947					
	向上させたい上位施策の成果指標	まちなか6スポットの1日あたりの延べ歩行者数(本町1、銀座3、りんご並木、知久町1、駅前、中央通り4)																	
目標	種別	指標名及び単位										24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	歩行者・自転車通行量(まちなか4箇所)										9000	7520		-				
	成果指標	整備率%(整備済延長/計画延長×100)										0.25	0.25		0.5				
	定性目標																		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・民間の商業空間創出事業(経済産業省補助事業)にあわせて実施し、開発による相乗効果をねらう。公共と民間が協働しなければ最大効果が得られない事業であり、事業時期をずらしては効果が低下してしまう。 ・社会資本である裏界線の整備について、平成20年度以降、建設部でなく商業・市街地活性化課で担当するのは、単に公共の路線整備を行うという事業枠を超えて、地域経済を潤す民間事業を誘発し、官民一体となって中心市街地活性化に寄与する整備を行うという意図を持ってのことである。 																		
	事業内容																		
24年度事業内容	ポケットパークA=20㎡(民間事業者による実施) 裏界線整備L=28.8m、W=2.0m										名称				活動指標				
											1 延長 2 幅員				1 L=28.8m 2 W=2.0m				
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足													
事業費計(千円)①		0	9,000	3,699	5,300	(国)社会資本整備総合交付金(市街地整備)(4.5/10) (地)合併特例(充当率95%) 24→25 繰越明許費 5,300千円													
国庫支出金				3,825	1,440														
県支出金																			
起債				2,700	0														
その他																			
一般財源				2,475	2,259	215													
人件費計(千円)②		0		2,146															
正規職員所要時間				600															
臨時職員所要時間																			
総事業費①+②		0	9,000	5,845	5,300														
事業内容・目標達成状況の振り返り		裏界線沿道にポケットパークを整備し、市街地に新たな賑わいと潤いの場を創ろうとする事業である。今回は、ポケットパークについては民間が、裏界線(市道敷)については公共が整備するという協働の形にまとめ実施に至った。																	
改革改善の考え方	①問題点	裏界線を含めた市街地ポケットパークの整備は、官民協働で実施するべき。																	
	②改革提案	裏界線整備の投資効果を最大とするために、テナントミックス事業やインキュベーション事業など民間の経済活動を誘発し、協働で取り組み、広場や緑地空間を生み出していくことが理想と考え、実施に臨んでいる。																	